

新連載スタート!



犯罪や非行をした人の再出発を見守り支える地域社会を目指して
下京保護司会 会長 岩佐省佑さん

下京区内で活躍されている方に、お仕事や活動などさまざまなことを、ぼくがインタビューするコーナーです。今回は、下京保護司会の岩佐会長にお話を伺います!



「保護司」として活動されているということですが、具体的にはどのような活動をされているんですか?

犯罪や非行をして保護観察を受けている少年たちと実際に話して、社会復帰のための助言や指導を行ったり、犯罪や非行のないまちのための啓発活動を行っています。

下京区内には約50人の保護司がいますが、少年たちの円滑な社会復帰のための生活環境の調整を含め、各保護司がだいたい1人の方を担当しています。

どのようなことをお話されるんですか?

仕事に関する相談や、趣味に関する話もします。非行などさまざまな問題を抱える少年たちに対しては、兄や姉のような身近な存在として接してあげることが心がけています。犯罪や非行をした少年たちは、人とうまく話せないことも少なくないので、保護司と定期的に会って話すことで、少しずつコミュニケーションがうまくとれるようにしてあげることが重要な役割になっています。

犯罪や非行をした少年にとって、信頼できる方と会って話すことは重要なことなんですね。そんな保護司の仕事のやりがいってどんなことですか?

犯罪や非行をした少年たちや他の保護司の方など、多くの人と関わるので、自分の成長につながる事が一番のやりがいです。また実際に保護司として関わっていた少年が、更生し自立していく姿を見ると嬉しい気持ちになりますね。

とても素晴らしい活動ですね!最後に、下京保護司会として下京区をどのようなまちにしていきたいですか?

地道な啓発活動などを続けていき、犯罪や非行をした少年たちの自立を地域全体で見守り支えるまちづくりをすすめ、犯罪や非行のない明るい社会を目指していければと思います。



下京保護司会は、再犯防止啓発月間である7月に、街頭啓発活動「社会を明るくする運動」を行います。ぜひお越しください。

けすぞう君のQ&A ~天ぷらなべ火災に注意!~



天ぷら油の加熱中その場を離れたことはありますか? 少しい油断から、火災になってしまうことがあります。今月は、天ぷらなべ火災についてお話しします。

Q 天ぷらなべ火災はどうして起こるの?

A 油を加熱中その場を離れてしまい、油が発火温度(約360度)に達すると、油自体が燃え出し火災となります。

Q 天ぷらなべ火災の消火はどうすればいいの?

A 消火器による消火が一番安全です。消火器がない場合は、こんろの火を消し、鍋と同じ大きさの蓋を被せて消火することもできます。その際は、蓋を盾にして炎から身を守りながらゆっくりに被せてください。油に水を掛けると、炎が爆発し大変危険なので絶対にやめましょう。

Q 天ぷらなべ火災の予防対策はどうすればいいの?

A 調理で油を使っているときは、絶対にそばを離れないようにし、離れるときはこんろの火を消しましょう。おふきんなど燃えやすい物をこんろの周りに置かないようにしましょう。

○住宅用火災警報器の作動点検を日頃から行いましょう。

☎ 下京消防署(☎361・4411)

第68回社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」とは、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人の改善更正について理解を深め、犯罪や非行のない地域社会を築くために行われている運動です。



日時 7月14日(土) 13:45~15:00

内容 下京中学校吹奏楽部による演奏やマーチングバンドを先頭とした街頭啓発ほか ※当日の天候により変更になる可能性があります。

場所 【開会及び吹奏楽部の演奏】下京中学校 【街頭啓発】下京中学校から新町通を北へ(高辻通りまで)

参加団体 下京保護司会、下京南北更生保護女性会など 主唱 法務省

☎ 下京保護司会会長 岩佐(☎351-4432)

千年を守る 未来を創る

下京警察署からのお知らせ
薬物乱用を
防止しましょう!~

下京警察署では、覚せい剤や大麻などの薬物使用の摘発を強力に進めています。薬物は自分自身だけでなく、周りの人の人生も大きく狂わせてしまいます。

薬物には次のような悪い影響を身体に与えるので、絶対に使用しないでください。

- 薬物乱用は精神と身体の両方を破壊します。
- 薬物が切れると、たまたまなく薬物が欲しいと思うようになり、止めるのが難しくなります。
- 幻覚や妄想により犯罪や事故を起こしたり、薬物を買うために犯罪を犯すようになります。

薬物の情報提供や相談がある場合は、下京警察署までご連絡ください。



七条新千本交番が新しくなりました!

☎ 下京警察署(☎352・0110)

